

平成19年度 学校評価シート

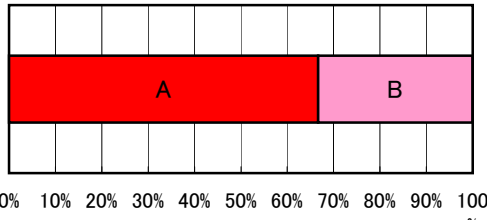
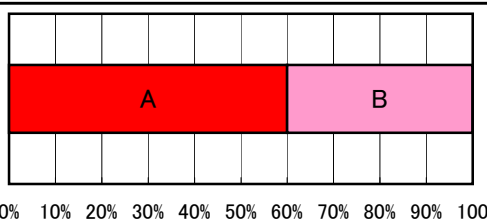
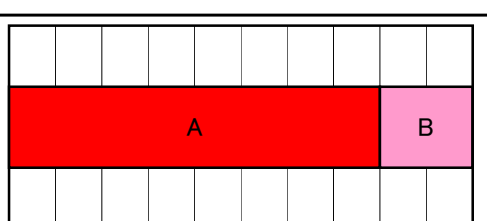
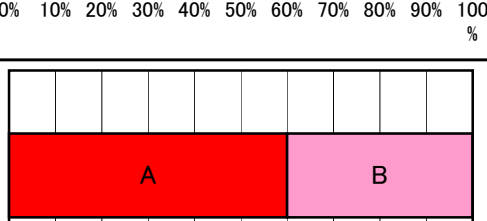
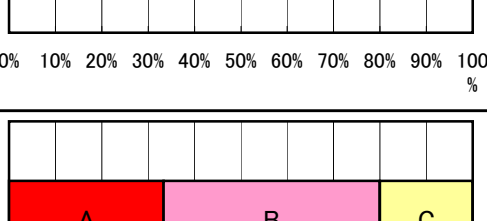
兵庫県立氷上西高等学校

★ 学校経営の重点

- (1) 教育目標
生徒一人一人の個性と能力の伸長を図り、人間としての誇りと豊かな心を育み、活力あるたくましい生徒を育成する。
- (2) 教育方針
 - ① 学校・保護者・地域が生徒の育成にかかわる当事者としての自覚と責任に基づいた連携を密にし、地域に根ざした「魅力ある学校づくり」や「地域に信頼される学校づくり」を推進する。
 - ② 日常生活におけるさまざまな教育活動を通じて、自主・自律の精神と豊かな感性を育み、創造力と豊かな公德心を培う。
 - ③ 温かさと厳しさの調和した人間的なふれあいに基づく生活指導を通して、生徒一人一人の生き方に関わる主体的な進路選択能力を培う。
 - ④ 人と人との絆を強め、公共心と福祉の心を育み、社会の変化に主体的に対応できる能力と生涯学習社会をたくましく生き抜く力を培う。
 - ⑤ 自国や諸外国の歴史・文化・伝統などについての理解を深め、国際社会と共生社会に生きる人間としての在り方や生き方を思考させる。
- (3) 本年度重点目標
 - ① 小規模校の特性を活かした教育内容や指導方法を工夫し、「意欲」「判断力」はもちろん、特に「表現力」の育成を図る。
 - ② 多様な生徒一人一人の的確な実態把握と生徒理解に努め、基本的生活習慣の確立と基礎・基本の定着を図る。
 - ③ 本校の教育活動について積極的に広報活動を展開し、地域住民の理解を図るとともに、「開かれた学校づくり」を推進する。
- (4) 継続的目標
 - ① 体験を重んじ郷土理解を推進する「高校生地域貢献事業」「高校生就業体験事業」「総合的な学習の時間」などの教育活動を通して、「心の教育」の充実と「共に生きる心」を育む。
 - ② 資格取得と部活動を強化し、母校を誇りに思う生徒を育成する。
 - ③ 新たな防災体制の確立と防災教育の定着を目指して、地域の関係機関との連携を深める。
 - ④ 「教えるプロ」として自覚を強く持ち、一歩踏み込んだ「信頼関係」に満ちた師弟関係を構築し、「教え、諭し、育てる」ことの実践力向上を図る。

★ 各部・学年目標

<評価基準> A・・・よくできた(4) B・・・できた(3) C・・・余りできなかった(2) D・・・できなかった(1)

領域	評価観点	評価項目	●実践目標 (チェックポイント) ・成果	アンケート結果	平均
総務部	開かれた学校づくり	広報冊子の有効利用	●「学校要覧」、「学校案内」、「入学のしおり」などの広報冊子の作成と地域等への配布 ・「学校案内」は校正を重ね、良いものをつくることのできた。職員で分担し、広範囲にわたり、また来客者にもこまめに配布することができた。		3.7
		高校生地域貢献事業	●「福祉教育講座」、「オープンハイスクール」など地域の人材を有効に活用し地域に根ざした内容となるよう企画・運営する。 ・地域の人材を活かしボランティアグループなどから講師を招き実施した。積極的にボランティアに参加する生徒もいた。		3.6
		P T A活動支援	●独立校存続署名活動、P T Aだより作成、学年運営部・研修部との連携などP T A活動がスムーズに進むように理事会を支援する。 ・夏の奉仕作業では猛暑の中、PTAと教職員が協力し実施できた。 ・文化祭のステージ発表ではハンドベルを演奏し事前に練習を重ね成功裏に終えることができた。		3.8
		広報活動	●「西高だより」、「巡回写真展」など昨年度までの事業に加え、「スクールニュース」を発行し幅広く配布することにより広報活動に努める。 ・月1回発行を始めた「スクールニュース」は好評で、配布するだけでなく、今後掲示してもらえよう努めたい。		3.6
		学校行事への地域住民等の参加	●体育大会、文化祭、オープンハイスクールなどの行事を積極的に開かれたものにし、保護者や地域住民の参加を促進する。 ・体育館耐震化工事のため青垣住民センターで実施した文化祭は地域住民の参加まではいかなかったが地域に知っていただくよい機会になった。		3.1

行事内容の充実	特別活動・学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ●修学旅行の内容の充実と業者選定、1年生オリエンテーションの野外活動、芸術鑑賞等の日程の調整と内容の充実を図る。 ・芸術鑑賞は演劇を実施し、生徒の鑑賞態度は良好であった。 ・修学旅行の業者選定は仕様、見積、選定と厳正に行うことができた。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	3.4
	式典行事	<ul style="list-style-type: none"> ●着任式、入学式、離任式、始業式、終業式、卒業式等の式典を企画、厳粛に運営し、生徒の校歌斉唱への積極的な取り組みを行う。 ・式典は厳粛に行うことができたが、校歌斉唱への積極的な取り組みには課題を残している。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	2.9
円滑な校務運営	月間・年間行事	<ul style="list-style-type: none"> ●行事がスムーズに進むよう各行事計画のバランスをはかり、行事予定の企画と調整を行う。 ・2回目のオープンハイスクールを急遽実施することになったが、他の行事と調整をし、実施することができた。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	3.5
	職員会議	<ul style="list-style-type: none"> ●職員会議が円滑に進むよう各部・委員会と連絡・調整をし、資料の精選化を図る。 ・事前に校運の議題等を提出してもらうようにし、スムーズに進行できた。資料の事前の確認を丁寧に行う必要がある。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	3.5
安全管理	防災教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●7月と12月の2回の訓練の実施と1月17日の追悼行事を通して防災意識の高揚を図る。 ・2回の訓練と1月17日の追悼行事で防災への意識の高揚を図ることができた。今後、総合やLHRでの取り組みも必要である。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	3.3
教務部	自ら学び自ら考える力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●自然・地域との関わりや体験的学習等を通して、潤いのある豊かな心を培う。 ・各教科や総合的な学習の時間において体験学習を実施し、生徒は意欲的に取り組むことができた。体験学習には事前指導が必要である。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	3.2
	基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の学習に対する意識調査を実施し、実態を把握するとともにその結果を授業に活かしていく。 ・6月に学習状況、12月に授業アンケートを実施した。結果をもとに授業改善に向けて各教科で検討、実践した。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	3.3
	学ぶ喜びや達成感が味わえる指導方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●指導方法を常に見直し、コンピュータ等情報機器を活用しながら、より効果的な指導が行えるよう、研修や研究会を実施する。 ・8月にICT活用のための研修を行った。ICT活用した授業を公開し、研究討議を行った。一人一回研究授業を実施した。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	3.5
総合的な学習の時間	創意工夫を生かした実践の展開	<ul style="list-style-type: none"> ●多角的な考え方を身に付けさせるとともに問題解決や探究活動に主体的・積極的に取り組む態度を育てる。 ・特別非常勤講師を活用し、有識者より話を聴く機会を設けるとともに、自分の進路や適性について積極的に考えさせる場を作った。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	3.3
個に応じた学習指導の徹底	一人一人の確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●教育課程の編成を工夫し、生徒一人一人の適性と能力に応じた教育を行う。 ・2年生以降類型に分かれ、類型内でも選択科目を設ける等、生徒のニーズにあった教育課程を実施した。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	3.4

		<ul style="list-style-type: none"> ●習熟度別学習、チーム・ティーチングを導入し、個に応じた指導を通し、生徒の学習意欲を高める。 ・習熟度別学習では生徒の学力に適したクラスで学習でき、成果があった。TTは役割分担がしっかりできており、生徒が気軽に質問していた。 ●情報や情報手段を主体的に選択し、活用する能力を育てるとともに、表現力を育成する。 ・各教科や総合的な学習の時間において発表する場を多く設けた。表現力が向上した者もいるが、継続指導していく必要がある。 		3.5	
		<ul style="list-style-type: none"> ●問題行動の未然防止の指導を徹底する。校内、校外巡回指導の実施。 ・校内外の巡回指導を実施し問題行動の未然防止に成果があった。 ●学校生活の基本である頭髪や服装の指導を徹底する。再登校指導の実施。 ・6月から再登校指導を実施し、頭髪や服装の違反が減った。 ●遅刻防止のため毎日生徒通用門で登校指導を実施し、また定期的に全教職員参加の登校指導を実施する。 ・毎日登校指導を実施し、多くの生徒が遅刻防止を心掛けるようになった。 		3.3	
生徒指導部	生活習慣の確立	問題行動の克服	<ul style="list-style-type: none"> ●問題行動の未然防止の指導を徹底する。校内、校外巡回指導の実施。 ・校内外の巡回指導を実施し問題行動の未然防止に成果があった。 		3.3
		校則の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●学校生活の基本である頭髪や服装の指導を徹底する。再登校指導の実施。 ・6月から再登校指導を実施し、頭髪や服装の違反が減った。 ●遅刻防止のため毎日生徒通用門で登校指導を実施し、また定期的に全教職員参加の登校指導を実施する。 ・毎日登校指導を実施し、多くの生徒が遅刻防止を心掛けるようになった。 		3.5
	教育相談	指導援助	<ul style="list-style-type: none"> ●教育相談の充実により悩みを持つ生徒の早期発見と指導援助体制を確立する。 ●発達障害のある生徒への理解のために職員研修を行う。 ・教育相談の充実から、悩みを持つ生徒に指導援助に役立った。 ・8月に2度の職員研修を行い、生徒の内面的理解につなげた。 		3.4
	交通安全指導の徹底	自転車通学者の安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ●並進・二人乗り・傘差し等の違反者には反省文を書かせる等安全指導を徹底する。 ●毎月1回、早朝登校指導をPTAと連携し、全教職員で実施する。 ・安全指導を徹底することで、違反者を減少させた。 ・PTAと教職員で毎月1回登校指導を行い、交通安全に成果をあげた。 		3.1
	特別活動の充実	学校の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ●学校行事に積極的に参加し、連帯意識を高める。 ●部活動・HR活動・生徒会各種委員会の活性化を図る。 ・生徒会を中心に体育大会や文化祭を盛り上げ、生徒の連帯意識が高まった。 ・部活動では野球部の応援に太鼓部が援助するなど活性化を図ることができた。 		3.5
進路指導部	進路指導体制の充実	進路情報の整備・伝達	<ul style="list-style-type: none"> ●3年間を見据えた進路指導計画 ・3年間を見据えた進路指導計画を作成したが、その細部において実施は不十分であった。 ●各学年との連携 ・進路希望調査 ・進路ガイダンス ・三者懇談 ・1、2年に年間3回の進路希望調査を実施した。 ・全学年に年間2回の進路ガイダンスを実施した。 		2.9
				<ul style="list-style-type: none"> ●各学年との連携 ・進路希望調査 ・進路ガイダンス ・三者懇談 ・1、2年に年間3回の進路希望調査を実施した。 ・全学年に年間2回の進路ガイダンスを実施した。 	

		<ul style="list-style-type: none"> ●保護者への進路情報 <ul style="list-style-type: none"> ・進路だよりの発行 ・説明会の実施 ・情報提供 ・進路だよりで進路情報の周知とキャリア教育の啓蒙を図った。 ・4月に全学年に実施し、3年生には就職・進学別の説明会を実施し、進路環境の理解を求めた。 ・進路閲覧コーナーに参考書や最新情報誌を購入して整備した。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	3.7	
		<ul style="list-style-type: none"> ●個に応じた進路情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・進路閲覧コーナーの整備 ・個別・分野別情報・資料の提供 ・面接指導 ・進路希望調査を基に分野毎、学校毎の資料を個別に提供した。 ・3年生には4月から継続して、本格的な面接指導を実施した。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	3.6	
	学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●進路実現に向けた学習習慣の確立と実力錬成 <ul style="list-style-type: none"> ・進学補習の年間計画と実施 ・模擬試験の年間計画と実施 ・補習参加者は少なかったが、計画通り補習を実施した。 ・模擬試験と検定を年度当初に一括して計画、申請し、実施した。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	3.1	
職業観・勤労観の育成と進路意識の向上	就業体験事業	<ul style="list-style-type: none"> ●卒業生との進路座談会 ●2年生インターンシップの実施 ●外部講師による進路講演会 ・卒業生によるリアルな就業現場の談話は好評であった。 ・2年生全員がインターンシップに取り組み、熱心に活動した。 ・体育館改修工事のため進路講演会は中止した。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	3.5	
	地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ●地域関連機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・進路指導研究会や職業安定所や就職支援交流校で情報交換を行い、連携を強化した。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	3.5	
主体的な進路選択能力の育成	総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ●自己の能力・適性・興味・関心に基づき自己の生き方を考え、自分の意志と責任で進路決定ができる能力を育成する。 ・各学年の学習内容は向上しているが、3年間の系統的な位置づけは不十分であり、更に改善していく必要がある。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	2.9	
	外部説明会への参加	<ul style="list-style-type: none"> ●校外で実施される進学説明会、オープンキャンパス、体験入学、職場見学への積極的参加を促す。 ・3年生は多くの参加をみたが、1、2年生は参加者が少なく、進路意識を高める必要がある。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	3.1	
保健環境部	保健衛生	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ●職員を対象にしたAEDを使用の心肺蘇生法講習会を実施し、危機管理に対応できる体制を確立する。 ●生徒を対象にした安全教育を推進する。 ・全職員にAEDを使用した心肺蘇生法講習会を実施し、機器操作の習熟を図ることができた。 ・3年生を対象にAEDを使用した心肺蘇生法講習会を実施した。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	3.5
		健康教育	<ul style="list-style-type: none"> ●保健だよりを定期的、かつ随時発行し、生徒が主体的に健康を管理する意識を高める。 ・「ほけんだより」を15回発行し、健康管理に対する啓蒙に努めた。 ●健康管理のため諸検診を実施する。 ●家庭との連携を密にして、必要な生徒に治療を促す。 ・健康に関する諸検診を実施し、治療の必要な生徒及び保護者に連絡した。治療を促したが、一部の生徒は治療ができていない。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	3.5
			<ul style="list-style-type: none"> ●健康管理のため諸検診を実施する。 ●家庭との連携を密にして、必要な生徒に治療を促す。 ・健康に関する諸検診を実施し、治療の必要な生徒及び保護者に連絡した。治療を促したが、一部の生徒は治療ができていない。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	3.2

環境整備	環境美化	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒・職員が一斉に毎日の放課後の清掃に取り組み、徹底を図る。 ●ゴミの分別意識の向上を図る。 		2.3	
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒、職員が一斉に清掃を行った。生徒の中には清掃への取組が不徹底の者もいた。 ・ゴミの分別が不十分で守れてはいなかった。 	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>		
1 学年	個性・能力の伸長	生徒理解	<ul style="list-style-type: none"> ●学期当初の2者面談、夏季休業中の3者面談を充実させ、生徒の理解を深める。 ・面談等を通じて理解を深めることに努めたが、一部の生徒に負担がかかり全生徒の理解が十分にできなかった。 		3.0
		中学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ●中高連絡会を実施、中学時代の交友関係などを把握し、生徒への指導に活かす。 ・連絡会では活発に意見交換ができたが、普段の生活の中で中学校との連携をさらに深める必要がある。 		2.9
		保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ●学年通信・学級通信等を通して保護者へ情報を発信し、共通理解のもと指導にあたる。 ・学級通信等は十分に発行できなかったが電話連絡や面談を通して共通理解を図った。 		3.1
		教師間の連携	<ul style="list-style-type: none"> ●学年団は学年会議の中で、また教科担当者会を通して授業中の様子等を把握し共通理解のもと指導にあたる。 ・教科担当に生徒の様子を記入してもらうアンケートを実施するなど生徒把握に努め、共通理解のもと指導にあたった。 		3.4
		部活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的に部活動への入部を促し、心身の鍛錬、友人作りに活かすよう指導する。 ・部活動に入部している生徒はそれぞれの部で積極的に活動している。さらに部活動への入部を促していきたい。 		2.8
		ボランティア活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的にボランティア活動への参加を促し、思いやりの心の育成を図る。 ・自らボランティアに参加する生徒が出るなど徐々に思いやりの心の育成が図れている。 		3.1
		基礎学力の伸長	学習の重視	<ul style="list-style-type: none"> ●一つ一つの授業を大切にすることを養う。 ・まだ不十分ではあるが1年間通して指導してきた結果、授業を大切にすることが培われている。 	
	課題への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●普段の授業時の課題、長期休業中の課題等への取り組みと期限内の提出を強く指導する。 ・評価に対する意識を向上させ、タイミングを考え指導し、提出状況は向上している。 		3.1	
基本的生活習慣の確立	挨拶の励行	<ul style="list-style-type: none"> ●社会生活の基礎として、気持ちのよい挨拶の励行を図る。 ・SHRや授業の始めと最後の挨拶を大切にする指導を重ねた。まだまだ不十分ではあるが成果が上がっている。 		2.7	
		時間のけじめ	<ul style="list-style-type: none"> ●時間を厳守し、遅刻・早退・欠席をしない態度を養う。 ・早退は減ってきたが2学期後半より遅刻、欠席が増えた。個人面談等を通じてさらに指導が必要である。 		2.6

2 学年	基本的生活習慣の確立	時間の厳守	<ul style="list-style-type: none"> ●時間を厳守し、遅刻・早退・欠席をなくす指導をする。 ●欠席・遅刻ゼロ週間を学年独自で取り組み、指導強化週間を設ける。 		2.3
		挨拶の励行	<ul style="list-style-type: none"> ●挨拶の励行を図り、正しい言葉づかいが出来るよう育成する。 ・挨拶、正しい言葉遣いができるようにもなったが、粗暴な言葉を発する一部の生徒には個別指導を重ね改善してきた。 		2.6
進路目標の設定	進路指導部との連携	<ul style="list-style-type: none"> ●進路指導部との連携により進路ガイダンスと模擬面接を実施する。 ●インターンシップを通じて、職業観・勤労観・職業人としての心構えを学習する。 		3.5	
		資格取得の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な資格取得に向けて、積極的に取り組む。 ・情報処理、ワープロ検定、英語検定、書写検定などを受検し、資格取得に取り組んだ。 		3.1
学力の充実	基礎学力の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●習熟度別学習を取り入れ、わかる授業の展開を実施する。 ●考査前に指名補習を実施し、学力補充を図る。 		2.9	
	学力の伸長	<ul style="list-style-type: none"> ●補習講座を毎週火、金曜日及び長期休業中に実施し実力の充実を図る。 ・補習講座を毎週火、金曜日及び補習者を募集したが参加者がいなかった。 		2.0	
3 学年	基本的生活習慣の確立	時間の厳守	<ul style="list-style-type: none"> ●欠席・遅刻・早退をしない指導をする。 ・時間を守る習慣が確立できた。進路決定後に一部の生徒が時間を守ることができなかった。 		3.1
		挨拶の励行	<ul style="list-style-type: none"> ●職員室への入退出、授業の開始・終了時の挨拶の徹底 ・進路決定に向けて指導を素直に受け入れ、挨拶は自然とできるようになった。 		3.4
		社会性の確立	<ul style="list-style-type: none"> ●服装・頭髪など社会生活に必要なマナーを身につける。 ・全体的には指導によってマナーが身に付いたが、進路決定後に一部の生徒に服装などの指導を要した。 		3.3
個性の伸長と自己表現の育成	基本的学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ●三学年として進路決定に向け、必要な学力を身につける。 ・一人一人が目標を持って取り組み、成果も上がり進路実現につながった。 		3.5	

	自己表現の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●総合の時間を活用し、収集した情報をもとにプレゼンテーション能力を身につける。 ・表現力をつけるため、発表会など取り組んだ。全体的には、課題を残したが、一部の生徒に成果を見ることができた。 		3.2
	信頼関係の確立	<ul style="list-style-type: none"> ●日常的な対話や面談を通して、進路相談も含めきめ細かな連絡を取り、理解を深め保護者の協力を得よう努める。 ・進路指導部と担任が中心となり、個人面接や保護者もまじえて懇談を行い、信頼関係を確立することに努めた。 ●不登校傾向にある生徒に対して、教育相談等を利用し、本人との面談をこまめに行う。 ・数名の生徒が教育相談を受け、カウンセラーと協力しながら、学校への登校を促すこともできた。 		3.7
	進路目標の達成	<ul style="list-style-type: none"> ●週二回の補習への参加を呼びかける。各種模試の受験・長期休業中の進路向け集中講座への参加を呼びかける。 ・毎週の補習と年間通して6回の模試を実施し、実力をつけるために取り組むことができた。 ●進路指導部と連携し、進路情報の提供と決定に向けアドバイスを行う。 ・進路指導部の適切な助言により、生徒へ進路情報も提供し、進路決定に必要なアドバイスを行うことができた。 		3.5
	進路目標の達成	<ul style="list-style-type: none"> ●週二回の補習への参加を呼びかける。各種模試の受験・長期休業中の進路向け集中講座への参加を呼びかける。 ・毎週の補習と年間通して6回の模試を実施し、実力をつけるために取り組むことができた。 ●進路指導部と連携し、進路情報の提供と決定に向けアドバイスを行う。 ・進路指導部の適切な助言により、生徒へ進路情報も提供し、進路決定に必要なアドバイスを行うことができた。 		3.5
人権教育委員会	人権意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ●「HUMAN RIGHTS」の活用を中心とした人権HRを計画的に行なう。 ・「HUMAN RIGHTS」を中心に諸資料を活用して、人権HRを実施した。 		3.0
	職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ●教職員研修会を実施し、職員の人権意識の高揚を図る。 ・講師の選考が難航し、職員研修会は実施できていない。 		1.9
	生徒の実態把握に基づく的確な指導	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の意識を把握し、個々の差別実態を解消させる態度を養う。 ・人権作文を通し、生徒の実態把握に努めた。また、生徒の人権に関する作文の中から校外の人権作文集に掲載する作文を提出した。 		2.8
	他との連携による人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ●外部の関係機関・学校との連携を図る。 ・校外の研究大会、部会、研修会等に努めて参加した。 		3.3

【お願い】

自己評価(内部評価)のあり方、内容、評価結果等にご意見がありましたらご連絡ください。

学校長

Email : hikaminishi-hs@hyogo-c.ed.jp